

とまちゃん通信

角ともこ県議会レポート

2010.02.february vol.12-1

一人ひとりを大切に する政治に

高校中退・不登校児が
学べる環境づくり

通信制高校の調査に兵庫県
の相生学院高校と京都のつく
ば開成高校京都校に行ってい
ました。

全日制高校に適應しにくい
生徒のために通信制で本人に
合ったペースで学習し、余裕の
できた時間で地域でのボラン
ティア活動やスポーツ、あるい
は調理師、美容師、ミュージシ



美容コースで学ぶ生徒

ヤンなど特技を身に着け、活動
を通してコミュニケーション
能力を養い、社会で活動できる
よう育てていく学校の取り組
みに新たな学校のあり方を見
た気がします。これまで長い間
高校教育や通信制教育に携わ
ってこられた土屋和男校長は
「大学感覚で学べる高校」とし
て取り組んでいます。生徒は自
分で時間割を作り通信制で学
びながら、余裕ができた時間を
もっとやりたいことに費やし
ています。スポーツコースでテ
ニスをする生徒は、このたびの
近畿地区大会で優勝しました。
つくば開成高校京都校では、
子どもたちが実際に授業をし
ているところも見ましたが、皆
とても明るく、今までのいろい
ろと悩んできたなどは思えな
いほど、意欲的に授業に取り組
んでいる姿に感動しました。

隠岐航路を議会で調査

中山間地域・離島調査特別委
員会の県内調査として、離島航
路等について隠岐四町村の関
係者から実情などを聞く現地
調査を行いました。

以前から隠岐航路は本土の
国道と同じ、道路の整備には国
を挙げて行っているのに航路
に関しては支援が薄いという
ことは言われており、隠岐選出
の門脇議員も議会で何回も取
り上げています。

隠岐は四つの島に分かれて
おり、特に海士町・西ノ島町・
知夫村のある島前と隠岐の島
町のある島後の間の航路は、島
前側に不利なダイヤです。冬場
は便数が少なくなり、隠岐の島
町での昼間の行事に出るのに
前日の船で出かけ、夕方までか
かるとその日のうちには帰れ
ず、もう一泊しなければならな
いということです。また、せつ
かく航空路があっても、島前
は航空便の時間と船便の時間
が合わず利用しにくいなどの



隠岐島の皆さんと意見交換

課題が出されました。

案内板の不備や船内アナウ
スの不十分さによって観光客が
迷うことなど、すぐにでも対応
できることなども提案されまし
た。

離島に住む人たちにとって生
活に密着した航路は命の綱でも
あります。また、航路が使いや
すく、負担が少なくなることが
島内の産業の振興にもつながっ
てきます。町長もこれからは今
までの社会基盤整備を活かし、
ものづくりに徹していく考えを
示されましたが、そのネット
なるのは輸送です。なんとか、
島民の皆さんの負担を軽くする
ことが必要です。

